



# きょういくちよくごほうのうはこ 教育勅語奉納箱

(一宮町教育委員会所蔵)

【明治41年(1908)以降 昭和20年(1945)以前】 平成31年(2019)1月 寄贈

きょういくちよくご きょういく かん ちよくご めいじ ねん  
教育勅語(「教育ニ関スル勅語」)は明治23年(1890)、  
きんだいにほん きほんほうしん はっぶ めいじてんのう  
近代日本の教育の基本方針として発布された明治天皇の  
ちよくご せんご しょうわ ねん はいし  
勅語(おことば)です。戦後の昭和23年(1948)に廃止さ  
れました。

ぜんこく かくがっこう ほうあんてん たてもの ごしんえい  
全国の各学校では「奉安殿」とよばれる建物に御真影  
てんのう こうごう しゃしん おさ  
(天皇・皇后の写真)とともに納められていました。

はこ げんざい いちのみやしやうがっこう せんぜん きょういくちよくご ぼしん  
この箱は現在の一宮小学校で戦前、教育勅語と戊辰  
しょうしょ めいじ ねん はっぶ どうとくきじゅん しめ  
詔書(明治41年(1908)に発布された道徳基準を示したも  
の)を奉納していた箱とみられます。中身はありません  
せんご きょういくちよくご ぼしんしょうしょ くに へんかん  
が、戦後すぐに教育勅語と戊辰詔書は国に返還された  
ことが、いちのみやしやうがっこう にっし  
ことが、一宮小学校の日誌からわかっています。

(大きさ：縦約55cm、横約12cm、高さ約10cm)

